下関市、子育て環境8位

NPO調査、45中核市の中で

昨年度

自治体の子育て環境をNPO法人が順位付けした、2016年度版の「次世代育成環境ランキング」の中核市部門で、下関市が昨年度現在で45あった中核市の中から8位に選ばれた。

ランキングを付けたのは男女共同参画社会の促進に取り組むNPO法人「エガリテ大手前」(東京都)。子育て関連の施設数や職員数などの統計データをもとに、独自の基準で全国の政令指定市と中核市、東京23区の88都市を調査。「児童保育」や「小児医療」など8項目について点数を付け、総合順位を決めている。

下関市は児童家庭支援センターや職員数の充実などから「児童福祉」が1位、出産出来る病院が市内に8施設あることなどから「出産環境」は5位と評価され、総合順位を押し上げた。

市こども未来部の百田紀幸部長は「子育て環境日本一の都市を目指している。この順位を励みにしてさらに子育て環境の充実に努めたい」と話した。

エガリテ大手前の古久保俊嗣代表は「子育てのしやすい都市をつくることは人口増など地方活性化にもつながる。下関市はプラス面をさらに市民にアピールしていくべきだ」と述べた。

(白石昌幸)

■中核市の上位10自治体

①函館市(北海道)
②盛岡市
③大津市
④秋田市
⑤青森市
⑥和歌山市
⑦鹿児島市
⑧下関市
⑨宮崎市
⑩長野市

2017年(平成29年)5月26日(金) 朝日新聞